

地方創生に向けた SDGs 促進における地方メディアの役割

～壱岐の SDGs 未来都市・自治体 SDGs モデル事業に関する報道を事例に

○賈曦(Jia Xi)

Keywords : SDGs 地方自治体 プラクティス 地方メディア 役割

1 目的

持続可能な開発目標(SDGs)の達成を目指し、社会全体に SDGs を浸透させるために、地方自治体及びその地域で活動するステークホルダーによる積極的な取り組みが不可欠であり、それに関するメディアの報道も重要な役割を果たすと考える。本研究は、壱岐市の SDGs 未来都市計画に関する報道を事例に、地方メディアによる報道の内容分析を行い、地方メディアの SDGs に対する関心を呼び起こすための努力を具現化していくことにより、SDGs 促進における地方メディアの役割を明らかにし、さらに地域創生に向けた今後の可能性について提言することを目指している。

2 方法

地元紙の長崎新聞及び長崎建設新聞における 2018 年～2020 年の 2 年間に、「SDGs 未来都市」に選ばれた長崎県壱岐市の先進的な取り組みに関する報道を中心に、全国紙と専門紙の関連報道も踏まえて内容分析を行い、地方メディアによる SDGs の情報発信について検討する。

3 結果

今回の調査を通して、長崎新聞及び長崎建設新聞において、全国紙が重点的に報道する「気候非常事態宣言」のみならず、環境教育プログラムの実施、壱岐市と他の企業・機関などの連携協定の締結、SDGs を周知するイベントの開催など、多面にわたり壱岐市の SDGs に資する取り組みを積極的に紹介し、SDGs の周知・啓発に努める姿勢が明らかになった。特に「環境教育プログラム」、「住み続けたいまちづくり運動」「壱岐なみらい創りプロジェクト」など SDGs の認知度を上げるプログラムにフォーカスすることと、自治体として初の「気候非常事態宣言」をしたことを報道する際、単に内容を紹介するにとどまらず、気候非常事態宣言の背景として、壱岐の地域問題、つまり豪雨による災害や水不足などの異常事態の発生、藻場の衰退と磯焼け現象により、基幹産業である漁業への深刻な影響を踏まえて、具体的な参加・協働の仕組みとプロセスに焦点を置いて報道することが、地域住民の協働による新たな公共の担い手の育成や複雑な地域課題に対する認識を深めるに大きな役割を果たしているといえよう。

4 結論

以上により、地方創生に向けた SDGs 促進における地方メディアの役割について検討した。地元の先進的な取り組みを積極的に報道することにより、複雑な問題・課題への理解が深まり、よりよい解決策を生み出していくことにつながるということが考えられる。また、個々の問題解決の発想から、様々な問題・課題を関連付け(テーマの統合)、問題を同時に解決していくなど発想の転換が、他の自治体の参考になる可能性も考えられる。

【主要参考文献】

Svatava Janoušková, Tomáš Háek, Vlastimil Nečas and Bedřich Moldan, “Sustainable Development—A Poorly Communicated Concept by Mass Media. Another Challenge for SDGs?” *Sustainability* 2019, 11(11), 3181; <https://doi.org/10.3390/su11113181>, accessed on Sep.20th, 2020

田村紀雄・白水繁彦編著(2007)『現代地域メディア論』日本評論社

村上周三、遠藤健太郎、藤野純一、佐藤真久、馬奈木俊介(2020)『SDGs の実践 自治体・地域活性化編』事業構造大学院大学出版部